

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE 広島 2016年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

欄に数値またはコメントを記入

基町第21アパート新築工事

配 慮 項 目			評価点		重み係数		内 訳					
■1.「地球温暖化対策」の推進												
1.1 建物の熱負荷抑制												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください ZEH-M Oriented, 各住戸UA値0.6以下、ηAc値2.8以下。	3.0	0.64	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	2	外皮性能		
	5.0	0.36	LR1	エネルギー	1	建物外皮の熱負荷抑制						
小計	3.7	0.25										
1.2 自然エネルギーの利用												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	2.0	1.00	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用						
小計	2.0	0.05										
1.3 設備システムの高効率化												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 ZEH-M Oriented, BEI=0.80	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化						
小計	5.0	0.23										
1.4 設備システムの効率的運用												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	LR1	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅以外の評価		4.1	モニタリング		
	3.0	0.00	LR1	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅以外の評価		4.2	運用管理体制		
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅の評価		4.1	モニタリング		
	1.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅の評価		4.2	運用管理体制		
小計	2.0	0.09										
1.5 資源・マテリアル対策												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 高炉セメントを捨てコンクリート、土間コンクリート、外構に使用。 躯体と仕上材が容易に分別可能。	1.0	0.10	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水				
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	1	雨水利用システム導入の有無		
	0.0	0.00	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	2	雑排水等利用システム導入の有無		
	2.0	0.09	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減				
	0.0	0.00	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用				
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				
	2.0	0.09	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材				
	4.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				
	小計	2.8	0.27									
1.6 ライフサイクルCO2排出率												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 住宅性能表のRC躯体の劣化対策等級3相当。	4.9	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮						
小計	4.9	0.11										
1.「地球温暖化対策」の推進の評価			3.7	0.71								
■2.「ヒートアイランド対策」の推進												
2.1 温熱環境の向上												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 外構緑化指数20%以上50%未満。空地率60%以上80%未満、緑被率・水被率・中高木率合計20%以上30%未満。地表面対策面積率15%以上30%未満。LR1エネルギーのスコア74.0以上4.5未満	2.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出						
	2.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上				
	2.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善				
	小計	2.0	0.97									
2.2 交通負荷抑制												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 駐車施設設置義務条例基準を満たしている。	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制		
小計	3.0	0.03										
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価			2.0	0.16								
■3.「長寿命化対策」の推進												
3.1 耐用性の向上												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 住宅性能表のRC躯体の劣化対策等級3相当。 耐久性の高い給排水配管仕様(樹脂管)。	3.0	0.50	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震・制震・制振	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		
	3.0	0.13	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震・制震・制振	2	免震・制震・制振性能		
	5.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数		
	2.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		
	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		
	4.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		
	2.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔		
小計	3.0	0.44										
3.2 設備の更新性												
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。 構造部材を傷めることなく電気・通信配線の更新・修繕が可能。	0.0	0.00	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性		
	3.0	0.25	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給排水管の更新性		
	3.0	0.13	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性		
	3.0	0.13	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性		
	3.0	0.25	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性		
	3.0	0.25	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペースの確保		
小計	3.0	0.56										
3.「長寿命化対策」の推進の評価			3.0	0.13								
■重点項目の総平均(上記3項目)			3.3									